

<2016年5月湘南レース・レポ>

前日は八丈島勤務から6年ぶりに戻って来た有川家のお帰りの船上シュワシュワパーティー。大人6人でシュワシュワ5本空けた後、お仲間のハナミズキのBBQ会におじゃまし、また飲むまた食べるまた太る・・・就寝爆睡。

翌日、昼から飲んでいたので当然飲み疲れ。しかし風は味方し3~5m南南西とフォルタレーザにはばっちりの風。コースは秋谷沖~城ヶ島沖ブイ往復。今回のメンバーはいつものG氏、I氏、カトーに加え、6年ぶりにレースに復帰する八丈帰りのA氏、そして最近体力の衰えからレースに遠ざかっていたS氏の5名。首位バーバリアンとは6点差。2位CORVATSC IIとは4点差をつけられているが今日はA氏、S氏のリハビリレースと割り切ってスタートから20分ごとに全員がヘルムを担当交代するお楽しみレースでいくことにする。しかしこの持ち回り、誰のときに抜かれたか、誰のときにリードしたか、ハッキリ結果が出てしまうので真剣だ。

スタート地点秋谷沖には集まったのは全28艇。ディスタンスレースは一斉スタートだ。大型艇のブランクを避け本部船側からたとえ3列目になってもいいから上イチから出ようと、本部船の上側で待機。上有利のラインだったため本部船側は大混乱。回り込みながらスペースを探しているとラインからはじき出された艇が出るわ、リコール旗はあがるわ。とにかく風太郎さんの後に潜り込んでなんとか上からスタート。4列目くらいにはなったが作戦通りのまあまあのスタートだ。スタート後はフレッシュウインドの取り合い。ふと後ろを見るとお仲間のハナミズキが?!はじき出されたのはハナミズキだったのだ。声を掛け合うもすぐに抜かれて小さくなっていく。風は南南西のタイトリーチ。下げ潮のため通常三浦半島の西側先っちょは、潮が岸寄りに流れるので岸寄り有利だ。スタート前は岸寄りを走ろうとは言っていたが一直線で行く方を選ぶ。周りを見ると後ろに風太郎、ルミナス、バーバリアン、すぐ隣にCORVATSC II、岸寄りに最近いい走りをしているセブンシスターズがいる。

諸磯沖くらいに差しかかった頃、先行艇がタックして沖出しし始めた。風が変わる予感。後ろを見ると風太郎、バーバリアンもタックして沖に。我々はギリギリまで城ヶ島に近づこうとタックせず進む。すると沖出しした先行艇団の

足が止まった。見ると同じように城ヶ島に突っ込んだ先行艇が方向は一緒なのに反対のポートタックで走り始めた。ラッキー！その風を頂いて我々は冲出した分遠回りした他艇に比べほぼ直進で城ヶ島に到達することができた。

城ヶ島長津呂崎を越えて島の南沖合に打ってある回航マークを探す。回航した大型艇のスピンの上がるためマークは発見しやすい。今回はフォアデッキをI氏に任せ、カトーはチェック係。マーク回航前にギアをジャイブセット、反対側に回すのに手間取りマーク回航後ジャイブ即スピンアップはあきらめる。マークを回り、艇が秋谷に向けてからスピンアップ。しかしスピンハリがトップまで上がっていない。よく見るとトッピングに絡んでしまっている。ギアチェンジのときにチェックできていなかった・・・。下ろしてあげ直すのもなんだからそのままスピンハリ 50cm ブラブラで走る。バーバリアンとすれ違う。計算では20分以上差を付けなくてはいけない。我々がフィニッシュしたら風が落ちることを願う。

秋谷までのスピンラン、大型の先行艇団にはかなり離されたがすぐ隣にNクラスBグループのMAPLEがいたため集中力を保てた。やはりレースは近くにレース艇がいてこそである。かつてフォルタレーザI世（ソレイユルボン）の時はいつも単独セーリング。上下レースなのにもうレース艇はいないだろうとフィニッシュラインまで片付けられそうになったこともあった。イオロスになってからはみんなと走れてレースが楽しくなった。

亀城を越えたかなりの沖合に突然定置網のブイが！こんな沖にあったっけ？いつもの定置のさらに沖。行きはなかったと思うが・・・刺し網延縄？その網をよけるとMAPLEもかなり大回りによけ時間をロス、我々の後ろに位置することに。フィニッシュまではMAPLEのブランクを避けながら走る。13時22分54秒無事フィニッシュ。城ヶ島往復2時間52分54秒。今回ボーナスにジブファーラーの1%に加え、S氏65歳以上ハンデ1%が加わり2%。さて後続組は何分後に入ってくるか。

結果NクラスAグループ1着1位。2位CORVATSC II 3位バーバリアン。バーバリアンとは所要時間で約24分差、修正で約2分差。3時間のレースバー

バリアンとはやはり約 23 分離さないと勝てないことがわかりました。

これで年間総合得点はバーバリアン 114 点 CORVATSC II 113 点フォルタレーザ 110 点。1 月の新春親善レースでいきなりトップから 7 点差でスタートしたものの、なんとか 4 点差まで追いつけることができました。